

②-3. 広報・プロモーション：新聞記事

新聞記事

＜琉球新報社 2021年5月15日付け記事＞

GOTO食事券再延長
利用期限12月末まで

政府は14日、新型コロナウイルス感染拡大で打撃を受けた飲食業界の支援策「Go To イート」のプレミアム付き食事券に関し、最長6月末までとした利用期限を最長12月末までに再延長すると決めた。感染が収まらず利用が進まない地域が多いため。販売停止などの自粛期間に応じて地域ごとに延長幅が異なる仕組みで、対応は各都道府県の判断に委ねる。政府は昨年12月に決定し

た追加経済対策で、食事券の利用期限を今年3月末から6月末に延長した。ただ地域によっては4月以降も感染拡大で販売停止や利用抑制の呼び掛けが行われるなど難しい状況が続いている。具体的には、4～6月に販売停止や利用抑制の呼び掛けをした期間と同じ期間、7月以降に食事券を利用できるようにする。4～6月に自粛期間を設けなかった地域は原則6月末まで

で利用期限が終わるが、延長の相談などは受け付ける。

販売期限については地域で柔軟に設定できるが、食事券の販売終了後、利用のみで最低1カ月間を確保するよう求める。

イートのポイント付与事業についても、最長6月末となっていた予約の期限を最長12月末（来店は最長来

年3月末）までとする方向で、各予約サイトの運営会社と協議する。

経済産業省は14日、「Go To Eat キャンペーン」のうちイベント分野についても、オンライン催しなどの支援期間を12月末まで延ばすことを明らかにした。商店街分野も同様に事業期間を延長する。

新型コロナウイルス感染拡大により、感染が収まらない地域の食事券販売などの自粛期間に応じて、GoToEat キャンペーン食事券の利用期限が最大2021年12月末まで延長が各都道府県の判断により可能となることが政府より発表された。

②-4. 広報・プロモーション：新聞記事

新聞記事

<沖縄タイムス社 2021年10月12日付け記事>

GoToEat再開へ

県、認証6080店を想定

知事「ステージ2必要」

県内の新型コロナウイルスの感染状況が改善傾向にあることを受け、玉城知事は11日、国の飲食業支援策「Go To Eat」の再開に向けて政府と調整していることを明らかにした。那覇市内で記者団に話した。再開時期に関し「感染状況を示す国の指標が」ステージ2まで下がる必要がある」との認識を示した。再開されれば、利用停止された今年5月以来、利用対象となる店舗は、感染対策を講じたと県が認めた「認証店」6080カ所（7日時点）を想定している。

「Go To Eat」は、購入額の25%分を上乗せしたプレミアム付き食事券を発行し、飲食店の需要を喚起する事業。全国には愛知県、石川県など既に再開している。沖縄は緊急事態宣言発令後に追加された5月23日から利用が停止されている。

「Go To Eat」は昨年11月から沖縄で始まり、感染防止対策徹底を宣言した店舗に県が交付する「シーサーステッカー」を掲示する飲食店（約1800カ所）で利用できた。5月31日から新たに認証店が設けられたことから、再開後は認証店を優先して対象とする方針。今後、感染状況を踏まえながら、認証店以外にも利用対象に加えるかどうかを検討するともみられる。

「Go To Eat」は利用期間は12月15日までとなっているため、県や全国知事会が期限の延長を国へ要望している。

玉城知事は「感染状況が落ち着いたところから、再開に向けて準備を進めている」と話した。

<琉球新報社 2021年10月22日付け記事>

飲食支援来月8日再開

GoToEat県、認証店に限定

玉城知事は21日の会見で、新型コロナウイルスの感染拡大で中断していた国の飲食業支援策「Go To Eat」キャンペーンについて、店内飲食でのプレミアム付き食事券の利用を11月8日から再開する方針を明らかにした。再開の際には、対象店舗を県の感染防止対策認証店の認証店に限定する。飲食店での利用再開に向け、県内のキャンペーン事務局も21日、プレミアム付き食事券の販売を22日午前10時から再開すると発表した。（一面に関連）

飲食店に時短営業などを要請する県の独自措置は11月1日で終了するが、玉城知事は「全てがフルオープンにならないよう、慎重に段階的に進めていきたい」として、解除からキャンペーン再開まで間隔を空ける判断をした。

「Go To Eat」再開で、認証店に限定して再開する方針。認証店は感染防止対策を講じている。玉城知事は「感染状況が改善傾向にあることを受け、玉城知事は11日、国の飲食業支援策「Go To Eat」の再開に向けて政府と調整していることを明らかにした。再開時期に関し「感染状況を示す国の指標が」ステージ2まで下がる必要がある」との認識を示した。再開されれば、利用停止された今年5月以来、利用対象となる店舗は、感染対策を講じたと県が認めた「認証店」6080カ所（7日時点）を想定している。

「Go To Eat」は昨年11月から沖縄で始まり、感染防止対策徹底を宣言した店舗に県が交付する「シーサーステッカー」を掲示する飲食店（約1800カ所）で利用できた。5月31日から新たに認証店が設けられたことから、再開後は認証店を優先して対象とする方針。今後、感染状況を踏まえながら、認証店以外にも利用対象に加えるかどうかを検討するともみられる。

「Go To Eat」は利用期間は12月15日までとなっているため、県や全国知事会が期限の延長を国へ要望している。

玉城知事は「感染状況が落ち着いたところから、再開に向けて準備を進めている」と話した。

2021年5月以降、新型コロナウイルスに関わるまん延防止等重点措置や緊急事態宣言で食事券の利用が停止・制限されてきたが、感染状況が改善傾向にあることで、沖縄県感染防止対策認証制度事務局と連携を図り、GoToEat加盟店内で食事券を利用する際には、認証店舗の申請・取得が必要となった。

（沖縄県感染防止対策認証店は店内飲食が可能、認証を取得していない店では、テイクアウト・デリバリーのみ）

らなるとして、具体的に示さなかった。

ワクチン接種証明や検査陰性証明の活用に関するガイドラインについて、県数発着工労働部長は「現在示している案を現場で運用し、課題があればワーキンググループで検討して、11月中旬に成案を示したい」と話した。

②-5. 広報・プロモーション：新聞記事

新聞記事

<沖縄タイムス社 2021年12月1日付け記事>

**来年2月まで
利用期間延長**
GoToEat

飲食店を支援する事業「GoToEat キャンペーン おきなわ」事務局は29日、購入額に25%分を上乗せする「プレミアム付き食事券」（紙・電子）の販売期間と利用期間の延長を発表した。

12月15日までだった利用期間は2022年2月28日まで延長し、販売も来年1月28日までに延ばす。ただ、年末



年始の21年12月29日、22年1月3日は販売を停止する。
新型コロナウイルスの緊急事態宣言下で、利用が制限されたこと

を受けての措置。食事券は紙と電子の2種類あり、県の認証を取得していない店では、テイクアウトとデリバリーでしか使えない。認証店では、店内飲食でも使える。

共同事業体を構成するJTB沖縄などの担当者らが沖縄タイムス社を訪れ、「二人何度でも買える。飲食店や農林漁業者応援のために、食事券を活用してほしい」と利用を呼び掛けた。

期間を延長した「GoToEat キャンペーンおきなわ」の利用を呼び掛ける事務局のメンバーら。29日、沖縄タイムス社

<琉球新報社 2021年11月30付け記事>



**GoToEat
2月末まで延長**
沖縄事務局がPR

「GoToEat キャンペーンおきなわ」事務局は29日、プレミアム食事券の利用期間を2022年2月28日まで延長すると発表した。写真。当初の期限は12月15日だったが、緊急事態宣言発令の影響など

で利用制限が続いたため、期間を延長する。

食事券の販売期間も22年1月28日までに延長している。年末年始の12月29日、22年1月3日は販売を停止する。食事券は、新型コロナウイルス感染症に関する県の感染防止対策認証を受けている店舗では店内飲食、テイクアウト、デリバリーのいずれでも利用できる。非認証店舗はテイクアウトとデリバリーのみ利用となる。

事務局の野口駿氏は「感染対策を取りながら食事を楽しみ、農林水産業や飲食業を応援してほしい」と話した。問い合わせはGoToEat キャンペーンおきなわコールセンター ☎098(993)9376。

新型コロナウイルスの緊急事態宣言下で食事券の利用が制限されたことを受けて、共同事業体のメンバーが沖縄タイムス社と琉球新報社を訪問し、食事券の販売・利用期間の延長をPRした。

※沖縄県感染防止対策認証店は店内飲食が可能、認証を取得していない店では、テイクアウト・デリバリーのみ（写真当時：沖縄ファミリーマート、JTB沖縄、沖縄銀行の共同事業体メンバー）

③-1. 広報・プロモーション：YouTube等、動画配信（実績）

食事券の販売再開に伴い、YouTube動画配信を実施しました。

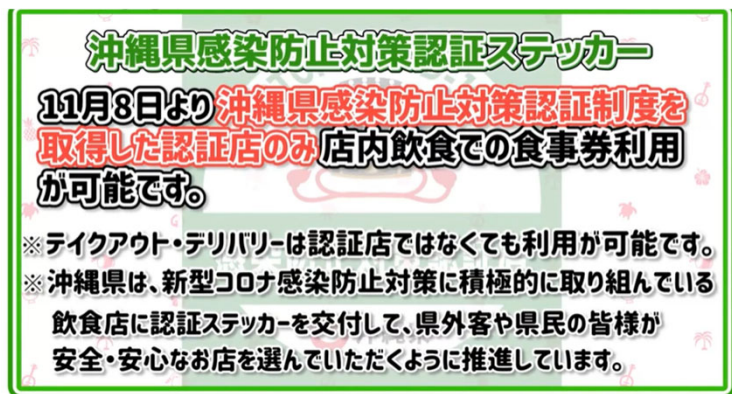
配信概要

- ◆ 配信期間：7/1（金）～7/31（日） ◆ 配信地域：沖縄県内
- ◆ 年齢：制限なし
- ◆ 配信先媒体：YouTubeチャンネル動画・Twitter・他

YouTube動画配信



<ご当地Vtuber「根間うい」>



<沖縄県内感染防止対策認証制度との連携>



<沖縄県内感染防止対策認証店ステッカー>



<GoToEatキャンペーンおきなわ加盟店でのお食事>



<紙・電子食事券の両方でお支払い>

④-1. 広報・プロモーション：WEB広告配信（実績）

食事券の販売再開に伴い、WEB広告配信を実施しました。

配信概要

- ◆ 配信期間：7/1（金）～7/31（日） ◆ 配信地域：沖縄県内
- ◆ 年齢：25歳以上
- ◆ 配信先媒体：Google・Yahoo!・LINE

広告クリエイティブ



1080×1080pix / 300×300pix



1200×628pix

<配信イメージ>

配信テキスト

➤ 配信媒体に応じてテキストを調整

【見出し】GoToEatキャンペーンおきなわ再開

【長い見出し】Go To Eatキャンペーンおきなわの対象店舗は
こちらから

【テキスト】10月22日より食事券の販売再開

食事券（紙・電子）の利用は12月15日まで



④-2. 広報・プロモーション：WEB広告配信（実績）

【LINE広告】配信結果サマリ



全体結果

リーチ（推定）	インプレッション	クリック数	クリック率
649,406	820,974	5,418	0.66%

- ✓ 全体の表示回数は約82万回、リーチ数は約65万回で1人あたり1～2回は広告が配信された結果。
- ✓ クリック数は5,418回、クリック単価18円と安価にクリックを獲得できた。
- ✓ クリック率は0.66%とやや高い傾向。

性別

性別	インプレッション数	クリック数	CTR	CPC
男性	310596	1865	0.60%	19
女性	510378	3553	0.70%	18

年齢別

年齢	インプレッション数	クリック数	CTR	CPC
20-24	83072	382	0.46%	18
25-29	203647	1912	0.94%	14
30-34	100637	448	0.45%	20
35-39	31027	153	0.49%	22
40-44	49482	334	0.67%	18
45-49	159372	609	0.38%	20
50-54	30488	245	0.80%	20
55-59	29265	233	0.80%	20
60-64	22056	117	0.53%	23
65歳以上	111928	985	0.88%	21

【性別】

- ✓ 表示回数について、女性が男性よりも199,782回多く広告配信されており、クリック数については約2倍。CTR（クリック率）も0.70%と平均値を上回る数値となった。*平均CTR：0.3～1.0%（業種によって変動あり）

【年齢別】

- ✓ 最もクリック率が高かった年齢は65歳以上で、表示回数に対しクリック率が0.88%と最高値。
- ✓ 最も費用対効果が高かった年齢は25～29歳で、クリック単価14円となった。